

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし、
全国で組織建設と拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止

雇用と職場まもる経営責任を迫ろう

秋闘要求提出 昨年上回る111支部・分会

10月1日 20秋闘回答指定日 年末一時金 10月21日(水)要求

JMITUの2020年秋闘は9月18日の統一要求日、昨年同時期の78支部分会を大きく上回る111支部分会が要求を提出しました。今年は通信産業本部も統一要求日ですべての職場で要求提出に取り組みました。

要求提出のほぼすべてで、「安心して働きやすい職場をめざす要求」「合意協力型労使関係をめざす要求」「安全衛生」の3つの統一要求が提出されました。今年の秋闘では、「必要なPCR検査」「感染防止策」「特別休暇貸与」「休業補償100%」など、コロナ

対策関連の要求が積極的に提出されています。

コロナ感染が続くなか、少なくないところで経営への影響が出ています。JMITUは今年の秋季年末闘争を、雇用とくらしをまもるたたかいと位置づけ、各経営者に対し、コロナ禍のもとでの経営状況や対策、今後の展望について正すとともに、労働者の雇用とくらし、健康と安全をまもる経営責任を迫ります。

10月1日(木)には各地で回答団交が開かれ、21日(水)には年末一時金要求がっせいに提出されます。

職場における日常活動と団結力再強化し、産業別統一闘争の強化で、要求の前進をめざします。



国会正門前 (9月19日)

消費税は5%に！ 憲法・くらし・雇用を守れ！
20秋季年末闘争勝利！

JMITU10・13中央行動

10月13日(火)14:30~国会請願デモ(日比谷公園霞門)、院内集会、厚労省・中小企業庁要請
(午前中~昼=金属反合共同行動)

安倍内閣の改憲くじいた5年のたたかい

戦争法からまる5年 **国会前行動に3500人** 政治変える決意あらたに

菅新政権による「安倍政治の継続」「9条改憲」を許さず、野党共闘と市民の共同で新しい政治を実現しようと、安保法制(戦争法)の強行からまる5年となる9月19日、国会正門前に3500人が集まりました。

立憲民主党の辻元副代表、日本共産党の志位委員長、社民党の福島党首があいさつしました。

改憲阻止！ 野党共闘で政治変えよう

11・3憲法集会へ職場から集まろう

日時 11月3日(火・祭日)13:30~15:00

場所 国会正門前(憲法共同センター全労連・JMITUは南庭側=国会正面向かって左側歩道)

解雇・雇止めは許しません 川崎でも宣伝



解雇や雇止めがひろがるなか、JMITUは、安心して働ける職場をめざし、駅頭などで労働相談と組合への加入をよびかける宣伝をスタートさせています。写真は、神奈川・川崎支部の宣伝です。(8月22日・登戸駅)

川崎支部はコロナ危機で解雇・雇止めや休業を通告されたが「休業補償がなく生活が厳しい」との意見が聞かれるか、「組合の出番だ」と支部執行委員会で討議。これまでのようなビラを配布しての未組織宣伝ではなく、コロナのもと宣伝に工夫が必要だと、「新型コロナ禍での、解雇・雇止めは許しません!雇い主は公的制度をフル活用して、雇用をまもれ」の横断幕を作成。「無料労働相談やっています、リーフをお渡ししています。お受け取り下さい」と駅頭でのスタンディングをスタートさせました。

横断幕をじっと見て、声をかけてくる人や自分からビラを受け取りにくる人もおり、参加者からは「やって良かった」の感想。次回は録音したテープでの音を出しもやってみようとの意見が出ました。

スタンディングでは、テーブルに「消毒液」を並べて感染予防。「N95マスク、フェイスシールド」も購入・準備したのですが、他の場所での宣伝行動の経験などから今回は通常マスクでおこないました。(神奈川・矢部通信員)

五大エンボディの仲間を 勝たせよう

大阪高裁勝利へ支援共闘結成

9月1日(火)、五大エンボディ争議を支援する会結成総会がラポール京都で開催され37名が参加しました。

京都市南区の医療・福祉器具製造販売会社・五大エンボディでは、一方的な賃金制度の改悪に反対してJMITUの分会が結成され交渉が続いていましたが、会社は突然、経営不振を理由に京都本社の売却と本社労働者の全員解雇を強行しました。

解雇された6人の組合員は2017年12月、解雇無効、地位保全を求めて京都地裁に提訴。今年2月の解雇容認の不当判決に対し5人の組合員が、大阪高裁に控訴したたかっています。

地裁判決は、労働者の長年のたたかいで確立した人員整理の必要性や人選の合理性、回避努力、労働



五大エンボディの仲間勝利へ支援共闘会議発足
(京都・9月1日)

組合・労働者との協議の「整理解雇の4要件」を形骸化させる不当なものです。

コロナ禍で解雇がひろがっているなか、労働者・労働組合と話し合うこともなく、さらには労働組合つぶし目的の悪質な解雇を許さないために、支援体制をさらに強化し大阪高裁でのたたかいをすすめます。支援共闘の代表委員に梶川京都総評議長、副代表に吉岡勝京都総評副議長、山本JMITU京滋地本委員長を選びました。10月2日、大阪高裁での第1回裁判が開かれます。(京滋・細見通信員)

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。